

令和7年12月河北町議会定例会

一般質問順序

順番	議席番号	氏名
1	13番	吉田芳美議員
2	3番	林智議員
3	7番	奥山英幸議員
4	8番	安達智勇議員
5	11番	石垣光洋議員
6	12番	細矢誓子議員
7	10番	鈴木英友議員
8	6番	木村章一議員

質問通告書

質問事項	質問要旨
	13番 吉田芳美議員
1 県立河北病院の跡地利用に関する、県の考え方と方向性を踏まえ、河北町としてどう進めのかについて	(1) 県の病院事業管理者から示された、跡地活用の取り扱いに対する町の認識について (2) 町は県に対し利活用提案を発信し、県との意見交換を積極的に行うことについて (3) 町は、県立河北病院跡地の利活用研究を、どのように進めるのかについて
2 河北町立小学校（6校）令和13年4月廃校後の施設利活用に関する「基本方針」を整備すべきことについて	(1) 廃校施設の利活用についての基本方針を整備する必要があることについて (2) 基本方針の中身について、現時点でどのように描いているかについて (3) 令和13年4月廃校になってから利活用を考えるのか、事前に取り組むのか等について
3 ひなの湯「第3号源泉」掘削事業の概要について	(1) 第3号源泉掘削は、ひなの湯の敷地内とのことだが、工事の概要について (2) 予算規模について (3) ひなの湯を核とした健康とレクリエーション交流機能の再構築をどの様に描いているのか
	3番 林智議員
1 河北町立小中学校の整備方法の方針及び今後の進め方について	(1) 当面の小学校建設のみの償還シミュレーションだけでなく、中学校の建設費を含め返済終了までの財政シミュレーションを作成し将来にわたる各年度の経常収支比率をはじめとする各指標について責任をもって提示し理解を得るべきでないか伺う。 (2) 償還額・借金の返済額が現在より増加することに対し、返済に充てる財源をどのように考えているのか。また、歳入の增收等の施策が検討されているのか伺う。 (3) 起債償還シミュレーションだけでなく、人口の増減・年齢構成の変化等のシミュレーションや歳入におけるシミュレーションをも町民に対して提示し理解を得るべきではないか伺う。 (4) 町財政状況を考慮し既存小学校校舎を活用した河北町立小学校2校体制を検討してはどうか伺う。 (5) 学校整備についての説明会に対し出席者が少なく、

	町民からの理解を得ていると判断するのは難しい。町は町民に対し形式的ではない説明責任を果たすべきと考えるがそのことについて伺う。
(6)	子育て世代をはじめ、多くの町民の理解を得るために説明会のオンライン配信等も活用すべきと考えるがいかがか伺う。
(7)	学校統合に際し、整備計画を再考慮し町民に対し理解を得るための努力を行うべきと考えるがいかがか伺う。

7番 奥山英幸議員

1 地方創生伴走支援制度について	(1) 国の施策である地方創生伴走支援制度に選出された具体的な課題と、現時点での支援制度の進捗状況を伺う。 (2) 伴走支援制度を活用することによって目指している方向性を伺う。 (3) 国から派遣されている伴走支援チームに対する町の活動評価はどのようなものか伺う。
2 職員の評価と異動について	(1) 職員はどのような基準や考え方で評価され、また人事や部署の異動を行われるのか伺う。 (2) 入庁してから同じ部署に留まる職員は皆無と思われるが、効果的でかつ能率的な部署運営を行うためにも、各部署に異動を伴わないスペシャリストを配置・育成する考えはあるか見解を伺う。
3 町内の屋内スポーツ施設の利用について	(1) 個人や団体による利用予約時に、町内在住の方と、町外在住の方とを差別化する考えはあるか見解を伺う。 (2) 利用予約を行った場合に、予約後の新たに取り決めなどを設ける考えはあるか見解を伺う。

8番 安達智勇議員

1 避難所のエアコン設置について	(1) 指定避難所において、エアコンが整備されている施設数と、未整備の施設への今後の整備方針を伺う。 (2) 非常用発電機や蓄電池の確保状況、特にエアコンを稼働できるだけの容量が確保できているのか伺う。 (3) 高齢者や乳幼児などの要配慮者に優先的に対応できるゾーニングが可能な避難所が何か所あるか伺う。
2 起立性調節障害の児童生徒への支援について	(1) 起立性調節障害の児童生徒の実態把握の状況、学校現場での理解や対応状況について伺う。 (2) 起立性調節障害の児童生徒への個々の状況に応じた学習支援体制をどのように整えていくのか伺う。

- (3) 学校と医療機関との情報共有、保護者への相談支援などの連携体制の強化への取り組みについて伺う。
- (4) 教職員への研修や地域全体での理解促進への取り組みについて、今後の方針を伺う。

11番 石垣光洋議員

- 1 社会における女性活躍について
- (1) 女性の地位向上について
(2) 所得向上について
(3) 地域からの流出防止について
- 2 介護保険について
- (1) 要支援者への訪問介護拡充について
(2) 介護離職防止について
(3) 介護人材不足について
- 3 クマ対策について
- (1) クマの出没状況の現状把握について
(2) クマ被害対策パッケージに対する町の見解について

12番 細矢誓子議員

- 1 避難所でのトイレ設置数の考え方や長期避難時の解決策について
- (1) 本町の避難所運営は「政府が指針で示す基準の数値」一人当たり最低3.5平方メートルの専有スペースや、50人に一基のトイレの数の指針に合致しているのかについて伺う。
(2) 避難所での生活が長期になった時の解決策について伺う。

10番 鈴木英友議員

- 1 町制施行70周年記念事業として制作購入した紅染衣装について
- (1) これまで、いつ、どの機会に、どのように展示公開したか伺う。
(2) より多くの人の目に触れる、魅せる工夫をすることについて伺う。
- 2 河北町児童動物園の状況について
- (1) 動物の増減、救護した動物の状況について伺う。
(2) 児童動物園らしい時計塔（台）の設置等についての考えを伺う。
- 3 河北町公の施設に係る指定管理者の候補者の選定の特例扱いについて
- (1) 指定管理者を特例で非公募とする理由として、どのような場合が考えられるのか伺う。
(2) 令和8年4月からの指定管理者の選定方法について伺う。
(3) 非公募にて指定管理者を指名する場合の理由を明確にする必要性について伺う。

6番 木村章一議員

1 小中一貫校と小学校の統合は、統合小学校の建設だけで30億円の基金がほぼゼロになり、借入金返済が1.5倍化し、財政的にみて無理があり、ほかの事業が著しく影響を受ける。一方で、とても傷んでいる河北中学校の大改修は、早急に必要ではないか。

2 クマ被害対策で、農作物の被害対策に加え、住民の生命や健康、日常生活に対する被害対策を強め、クマの出没情報が素早く伝わるよう、町の体制を強化すべきではないか。

- (1) 小中一貫校どころか、小学校の統合校舎建設でも、財政的にみて無理があり、ほかの事業が著しく影響を受けるのではないか。まだ充分に使える小学校を大改修し、大統合しない教育環境こそが、河北町の子どもたちを守り、のびのびと成長できるようにするのではないか。
 - (2) 「あり方検討委員会」では、町の財政的な状況を把握したうえで、小中一貫校の統合した建物建設を決めたのか。
 - (3) とても傷んでいる河北中学校の大改修こそが、先に検討されるべきではなかったのか。
- (1) クマ被害対策で、農作物の被害対策が中心の体制から、住民の生命や健康、日常生活に対する被害にも対応する体制にすべきではないか。
 - (2) クマの出没情報を素早く受け止め、素早く関係する住民に伝えて関係住民の避難行動をうながすため、ニュース放送の担当に、クマ出没情報が素早く伝わり発信できるようにすべきではないか。例えば119番への電話を受けて、救急車や消防車が発進しているが、そのような体制を作るべきではないか。
 - (3) 来年3月には、クマが活動を活発化させるので、それまでに人間側が対応する体制を強化すべきではないか。